第５学年　音楽科学習指導案

日　時　７月１１日（金）６校時

対　象　５年２組　３０名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 授業者　小田桐　由佳

１　題材名　「和音や低音のはたらき」

２　テーマ　思いや意図をもって音楽づくりに取り組み続ける学びっぷり

３　本時の授業

1. 目標

友達と聴き合いながら旋律をつくる活動を通して，音楽のもとを意識するとまとまりのある音楽になることに気付き，思いや意図をもって旋律づくりをすることができる。

1. 展開　（５／６）

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| 1 「茶色の小びん」を演奏する。  2 前時で，和音のはたらきについて学習したことを振り返る。  3 めあての確認   |  | | --- | | 和音に合わせて，4小節のせんりつをつくろう。 |   4 前半2小節を演奏してみる。  5 後の2小節を作ってみる。  ※「茶色の小びん」と同様に5度の和音  →1度の和音をもとにつくる。  6 お互いに聴き合う。  7 作った旋律を見直して，完成させる。  8　振り返り(3観点で)  ※①自分の作品のこと②友達の作品のこと③次回８小節の旋律づくりに向けて | ・短音で伴奏を弾いたり，和音で弾いたりして，前時の学習である和音に意識が向くようにする。  ・「茶色の小びん」では，同じ旋律を繰り返して使っていたことや，みんなで話し合って掴んだ曲の感じを振り返る。  ・和音をつなげて演奏する時，繋がりやすくするために，和音の重ね方を変えることもできたことを確認する。  ☆始めの２小節は，全員同じ旋律で固定することで，取り組みやすくする。  ・聴き手に感想を聞き，それぞれが生み出す音楽のよさや面白さに気付くことができるようにする。  ☆四分音符の他，八分音符も使っている子，前半との繋がりや旋律の終わりを意識している子を中心に取り上げ，自分の作品を見直すヒントになるようにする。   * 前の小節との繋がりを考えたり，友達がつくった音楽のよさを感じ取ったりしながら，思いや意図をもって旋律をつくることができている。   【思考・判断・表現】ワークシート,発言 |